

農業用「ケイ酸液」

稲作への使用例

<期待できる効果>

- 収量が増える
- 病害に強くなる
- 苗ががっしりする

★「育苗」に使用する場合

緑化後、2,000倍液を7日～10日に1回を目安に、
田植えまでに2～3回散布または土壌灌水してください。

★本田へも使用する場合

1,000倍液を葉面散布。

生育上、お勧めポイントの散布時期は、
活着期、分けつ期、中干し後、幼穂形成期前です。

※ 育苗期のみの使用、本田のみの使用もできます。

※ 実際の使用回数や細かい使用時期については、お客様の状況に応じて加減してください。

※ 本田で使用する場合の葉面散布は、使用器具や作業性を考慮の上、必要に応じて導入してください。

※ 「田植方式」では育苗期のみの使用でも効果が期待できます。

製造元 (有)サンジェットアイ

最終更新日 2016/5/30